

6月定例会は6月5日から28日までの24日間の会期で開催されました。

登録決定!

祖母・傾・大崩 ユネスコエコパーク



写真上：傾山から祖母山を望む。写真左・下：藤河内溪谷



※政策研究会の調査研究のテーマは「祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク」に決まりました。

★市議会は、受付の名簿に氏名等を記入するだけで傍聴できます。お気軽にお越しください。

★市議会に関する情報は佐伯市のホームページから閲覧できます。

[佐伯市議会](#)

[検索](#)

こんなことを審査しました!!

6月定例会の概要

選挙後初の定例会となった6月議会は、6月5日に開会し、予算議案1件、予算外議案30件、専決処分の報告1件が上程されました。13日から16日は各会派の代表質問及び一般質問、20日から22日までは各常任委員会及び予算特別委員会において全ての議案を審査し、28日本会議にて採決し閉会しました。

佐伯創生!! 予算はどうする?

予算総額 463億9,694万円(当初予算+32億6,394万円)

マメ
知識

選挙年の3月に編成される予算は骨格予算、選挙後新市長によって編成される予算は肉付け予算と呼ばれています。

❖ 主な質疑と答弁

質疑 … 婚活支援事業（55万7,000円）の内容と効果の検証は？

答弁 … 出会い支援事業を行う団体に対する補助金（1団体10万円）と婚活に関する講演会を開催している。効果の検証についてはアンケートの実施をはじめその方法について検討していく。

質疑 … がんばる里・浦地域活力向上事業（1,000万円）の対象地域、内容は？

答弁 … 対象地域は各振興局管内とし、中規模事業者に対しては対象額の3分の2、小規模事業者に対しては5分の4の補助率とする。

意見あり!!

旧市内の周辺部地域（青山、八幡など）は振興局もなく地域が疲弊しており、オール佐伯というならば全市域を対象に事業展開するべき!!

質疑 … 保育所等就職準備支援事業（736万2,000円）の事業内容は？

答弁 … 平成30年度私立保育園に採用される保育士を対象に、支度金として貸し付ける制度で、3年以上本市で就労すればその返済は免除される。予算額は14人分を計上している。

待機児童の解消を!!

平成29年4月1日現在の待機児童は38人で、待機児童解消のためにも保育士の確保が急務で、そのための事業です。

その他の主な事業

○飼い猫不妊・去勢手術支援（145万円） …… 飼い猫の不妊、去勢手術に対する補助

○工業団地用地購入（約4億4,100万円）

…… 土地開発公社から永野地区用地を購入

○公営住宅ストック改善（約1億3,900万円）

…… 外壁、屋上防水改修（鶴岡、梅牟礼団地）
給水設備改修（中江、女島団地B）



〈鶴岡地区にある市営住宅〉

○普通財産解体事業（約3,300万円） …… 旧下入津中学校の解体費用

○林道小福良線開設（4,050万円）

…… 林道小福良線の法面詳細設計業務及び開設工事に係る費用

○道路新設改良交付金事業（約4億9,400万円）

…… 佐伯大橋、尾浦トンネル他の修繕、耐震化や道路改良及び点検業務に係る費用

○災害対策施設整備事業（約4億9,500万円）

…… 池船、女島地区の避難タワー、上城地区防災避難広場の防災備蓄倉庫整備等に係る費用



〈予算特別委員会審査の様子〉

田中新市長が誕生して初めての予算特別委員会ということで活発な質疑・答弁が交わされ、予定時刻を1時間以上オーバーしましたが、賛成多数で平成29年度佐伯市一般会計補正予算（第1号）は可決されました。

（予算特別委員長 清田哲也 同副委員長 飛高彌一郎）

主な予算外議案

- ・ 防災局設置に伴う行政組織条例の一部改正（総務常任委員会所管）
- ・ 空家等対策協議会設置に関する条例の制定（建設経済常任委員会所管）
- ・ 社会福祉センター設置に関する条例の制定（教育民生常任委員会所管）

あれどうなったん？

平成
28年

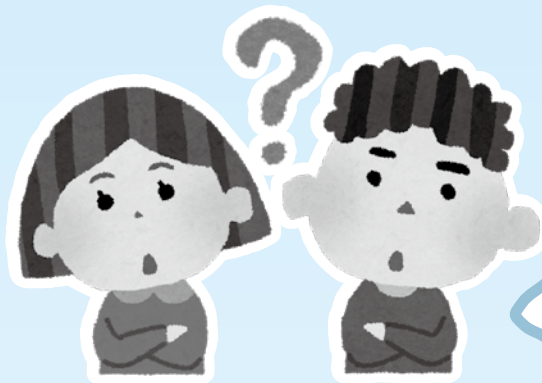
一般質問のその後を追う

質問者 清家好文 議員

食観光における一次産業の育成・手法については？

12月定例会

佐伯市ブランド流通促進協議会や関係課に問題提起し、協議していく。



質問者 上田 徹 議員

佐伯市の魅力再発見における在住外国人の活用方策は？

9月定例会

インバウンド推進事業において部会を立ち上げ、市内在住の外国人に意見を聞く予定。



〈APUモニターツアー〉

質問者 後藤勇人 議員

移住者に対して、フォローアップは？

12月定例会

平成29年度、「移住者交流会」を実施予定。また臨時職員1名を配置し、移住希望者へのフォローを強化。

質問者 吉良栄三 議員

DMOの研究について

3月定例会

県や九州観光推進機構が主催する説明会に参加しており、研究していく。

*DMO：官民連携によって地域観光を積極的に推進する組織

質問者 清田哲也 議員

若者が市外で結婚式をあげる理由の調査・研究は？

9月定例会

「佐伯市内での結婚式・披露宴復活！意見交換会」を開催し、現在の状況について協議を実施した。



質問者 三浦 渉 議員

番匠川に架かる橋の耐震化計画は？

6月定例会

中川・中江川に架かる橋梁の耐震化計画を策定し、実施中。その他の橋梁についても計画を策定予定。

質問者 佐藤 元 議員

中心市街地への公共交通網を構築すべきでは？

3月定例会

地域公共交通網形成計画及び再編実施計画策定に伴い、公共交通対策の調査・検討を実施中。

質問者 河野 豊 議員

クルーズ船寄港促進期成会の立ち上げは？

9月定例会

平成29年度設立の方向で検討中。



質問者 浅利美知子 議員

災害時、市内の福祉避難所42か所との連絡体制、仕組みは？

6月定例会

担当課が連絡先を把握しており、災害時には被災状況及び受け入れについて確認を取る。

質問者 御手洗秀光 議員

非核平和都市宣言塔の設置は？

6月定例会

来客用駐車場内に設置した。



質問者 矢野幸正 議員

市有林の維持管理について、有識者会議等の設置は？

3月定例会

今後、必要な状況になれば、設置する。

質問者 高司政文 議員

市立の保育所、幼稚園はどういう形態になるのか。

12月定例会

本匠、直川については、平成30年度に認定保育園（保育所型）に移行の予定である。



質問者 井上清三 議員

老老介護の負担軽減について

9月定例会

第7期介護保険事業計画の策定を行う中で検討する。

質問者 塩月健治 議員

入津湾の陸上養殖の赤潮対策は？

9月定例会

緊急赤潮対策として、地下海水の活用を図るにあたっての地質・水量・水質などの調査を予定。実施に向け関係者と打ち合わせを行う計画。

質問者 濱野芳弘 議員

放課後児童クラブ支援員の処遇改善について

12月定例会

税や健康保険の扶養の上限額が賃金アップの弊害になっているため、その他の勤務労働条件の改善を呼びかける。

救急車を呼ぶときは119番!!
あわてず、あせらず指令員の案内に従ってください。
ひとりでも多くの命を救うため、救急車の適正利用にご協力をお願いします。

救急車を呼ぶ前に、もう一度考え直してほしい例

- | | |
|--|--|
| ☒ 虫に刺されて痛い、かゆいだけ | ☒ 病院の待ち時間が嫌だから救急車で |
| ☒ 日焼けして痛い | ☒ 何日も放置していた歯の痛みがひどくなった |
| ☒ 指先を切った。血は止まったが念のため | ☒ 呼吸は楽になっているか？（階段どおりの呼吸か？） |
| ☒ 入院予定だから病院まで連れて行ってほしい | ☒ 自分で病院に行けるけど飲酒して運転できないから |

119番通報したら、こんなことを聞きます

住 所 _____
電話番号 _____
目印になる建物 _____
（近くには民家数や道路の名称）

● 誰が、どうしたのか（病気、けが、交通事故など）
● （具合が悪い方の）年齢、性別
● 一緒にいるか？（寝まわって通報しているか？）
● 呼吸は楽になっているか？（階段どおりの呼吸か？）
● 冷や汗をかいているか？
● 顔色は悪くないか？
● 意識はありますか？
● 症状を詳しく _____ など

救急車が来るまでに用意しておく便利なもの

- 保険証や診療券 ● 普段飲んでいる薬（おくすり手帳）
● お金 ● 靴

救急車の到着は早急に ● 母子健康手帳 ● 紙おむつ ● ほ乳瓶 ● タオル

救急車が来たら、こんなことを伝えてください

- 事故の状況や体調が悪くなってから救急隊が到着するまでの様子やその変化
● おこなった応急手当の内容（頭痛、かきつづけの痛みやクレンジング、昏倒数回している等、服薬の経緯など）
● 持病、かかりつけの病院やクリニックなどは、日頃からメモにまとめておくとう便利です。

消防庁ホームページ <http://www.homa.go.jp/>

質問者 富松万平 議員

救急車の適正利用の周知方法について

6月定例会

救急車の適正利用のリーフレットを市内の全世帯に配布した。

総務常任委員会

付託された予算外議案3件、専決処分の報告1件及び請願1件、計5件を審査し、全て可決・承認・採択すべきものと決しました。

新たに防災局を設置！

佐伯市行政組織条例等の一部改正

南海トラフ巨大地震や大規模災害の発生に備えて防災危機管理体制を強化するため、防災危機管理課を再編し、新たに防災局を設置するものです。防災局員は12名体制とします。

災害対応力の維持向上を！

請願 入札制度について

請願者 大分県建設業協会佐伯支部

地域の安心・安全な暮らしを支える守り手として、災害時に重要な役割を担っている建設業者を育成・確保するため、大分県が発注する工事請負契約に係る指名基準が追加改正されたことに伴い、佐伯市においても同様に改正を求めるものです。

教育民生常任委員会

付託された予算外議案4件について審査し、1件を修正可決し、残る3件を可決すべきものと決しました。

佐伯市社会福祉センター

女島に開設へ！

長島町にある老人福祉センターの敷地に津波避難人工高台を造成することに伴い、新たに女島区にある旧森林組合事務所跡を改修して、これまでの高齢者だけではなく、児童、生活困窮者、障がい者等も利用できる佐伯市社会福祉センターとして開設することとなります。

また、これまでの屋外機能については、剣崎の給食センターの横の市有地に移転することとなります。

審査のなかでは

新しい福祉センターの休館日に関し、修正案（日曜日・祝祭日に開館）が提出され、賛成多数により、修正案が可決されました。



〈旧森林組合事務所〉

建設経済常任委員会

付託された予算外議案5件について審査し、全て可決すべきものと決しました。

年々増え続ける空き家

実効ある対策へ 協議会を設置

平成27年に施行された空き家法（左欄参照）に基づき、「空き家等対策計画」の作成、実施に関する事項、空き家等の適正な管理、活用に関する事項等について協議するため、佐伯市空き家等対策協議会を設置することになりました。

計画は平成30年1月を目途に策定する予定です。これにより、行政や民間が実施する空き家対策に補助金が使えるようになります。

空き家法とは？

空家等対策の推進に関する特別措置法の略
倒壊等の恐れのある空き家等（特定空き家等）の管理を適切に行うために、行政が所有者の調査や指導、建物の解体等ができるよう定めたもの。補助金、交付金等の財政措置も規定している。

代表・一般質問

代表質問 6月13日

一般質問 6月14、15、16日

※代表・一般質問の掲載について

代表・一般質問の記事は、議員の責任において、本人が質問・答弁の原稿を作成しています。その内容に相違がないときは原則として原文のまま掲載しています。

なお、一般質問の掲載順序は紙面の都合上、質問順とは異なります。

質問者	質問の要旨
彩輝会 清田 哲也	・佐伯創生の方向性について
志高会 坪根 大吉	・行財政改革と佐伯市総合計画後期基本計画について ・市長就任あいさつにおける「佐伯創生」の取組について ・佐伯市まち・ひと・しごと創生総合戦略について
佐伯を元気にする 無所属の会 井上 清三	・地域共生社会の実現と共生型施設サービス推進について ・交通弱者等の対応について ・国道388号の改良について ・市長の政治姿勢について
公明党 浅利 美知子	・防災対策について ・福祉保健行政について ・バス化構想について ・教育行政について
南風会 御手洗 秀光	・市長の公約と所信表明について ・市長の今後の市政運営について
佐藤 元	・市長の政治姿勢について ・佐伯市許認可の状況について ・鶴見地区の道路整備について
上田 徹	・八幡地区の公園設置について ・県及び市が管理する河川の堆積土砂対策について
矢野 幸正	・祖母・傾・大崩ユネスコエコパークの登録により期待される効果について
森 三千年	・入津湾の漁場環境の改善について ・市道浦崎線の改良について
飛高 彌一郎	・津波避難地（人工高台）整備計画と津波避難タワーについて ・佐伯市総合運動公園宿泊研修施設（セミナーハウスはぐくみ）について ・佐伯市総合運動公園テニスコートの整備について ・フッ化物洗口の取組について ・保育所の待機児童と中心市街地公立保育所建設事業について
塩月 健治	・城山の管理・整備について ・市有バスの管理について ・水産振興について ・木立から堅田インターチェンジへのアクセス道路について
菅 さとみ	・防災訓練について ・いじめについて ・放課後児童クラブの在り方について
福嶋 勝彦	・市長の政治姿勢について
西條 隆洋	・田中市長における市政方針について ・コミュニティバス事業について
後藤 勇人	・中学校の部活動について ・番匠川河口橋について
高司 政文	・市街地に漂う悪臭について ・国民健康保険の都道府県化について
富松 万平	・県道事業について ・観光行政について
大野 達也	・インバウンドについて ・今後の交通の玄関口の在り方について ・祖母・傾・大崩山系ユネスコエコパーク登録について



どうする佐伯創生!!

彩輝会 代表質問 清田 哲也

問

ものづくり企業への支援策の構想は？

答

従来の支援策に加え、新たに産業教育を促進するための組織を立ち上げ、コーディネート者を配置し、企業と学校をつなぐ事業を行う中で、将来、佐伯市の企業に就職する、また、佐伯市で創業するような志の持てる子どもたちの育成を行う。

問

別府市との連携による観光振興策は？

答

年間宿泊者数255万人に及ぶ別府市の宿泊客を佐伯市に取り込む戦略が重要となってくる。そのために別府市はもちろん、別府市のホテル、旅館、観光業者と連携した取り組みを進めていく。また、佐伯産の農林水産物等の食材を別府市の宿泊施設等へより多く提供できるように努力も行なっていく。

問

たくましい佐伯っ子を育てるための中学校を通じた特色ある教育施策について市長の考えは？

答

将来を担う佐伯っ子には、郷土を愛する心を持って、世界に向かうスケールの大きな子どもを育てるため、地元への愛着、社会で通用する力を幼児期から養い、世界的に活躍できる佐伯人を育てたい。



「佐伯創生」と「農林水産業の振興」は

志高会 代表質問 坪根 大吉

問

農林水産業の現状と課題をどのように捉えているのか？

答

農林水産業の現状は、高齢化の進行、後継者や担い手不足により、就業人口の減少が深刻な問題で、それに伴い、農業では中産間地域等の耕作放棄地の増加、林業では森林組合や認定事業体等への作業委託の増加・伐採跡地の再造林の遅れ、有害鳥獣対策などが大きな課題となっている。

対策として、農業では各種交付金事業を活用し、担い手の育成・確保、集落営農組織・法人化の支援、施設園芸作物の施設整備等の助成など佐伯地域の実用に応じた施策や基盤整備に取り組む。また、林業では、将来にわたる安定した木材生産を図るため造林補助や苗木生産補助事業を推進し、循環型林業の確立を目指す。

次に、水産業の海面漁業については、漁獲量の減少傾向が続くため、漁協や漁業者が主体となった厳しい操業規制の導入や種苗放流事業等に積極的に取り組んでいく。また、養殖漁業については、近年の価格低迷と餌料の高騰による厳しい経営状態を打破するため、高付加価値化を目指して開発した「かぼすぶり」「かぼすひらめ」「岩ガキ」等のブランド品の販売促進や海外輸出の支援を行っていく。



地域共生社会・共生サービスについて

佐伯を元気にする無所属の会代表質問 井上 清三

問

近い将来、介護保険の利用対象は、要介護3以上の重度者に限定され、それ以外の方は、介護保険から外し、総合事業に移行と予測され、介護保険は、利用しにくい、使えないなど、一層厳しくなると推測する。そんな中、新たな取組みで「地域共生社会」への移行が進んでいる。共生社会での福祉サービスは、対象者を高齢者、障がい者、児童、生活困窮者など年齢や障がいの有無に関係なく、区別せず、誰でも受け入れ、さまざまな福祉ニーズに対応し、必要とき、必要なだけ利用できるサービスをモットーとした事業であり、従来の縦割り行政の弊害をなくし「まるごと」とし、介護予防・認知症対策、社会参加さらに雇用確保など、大きな効果が期待でき、全ての人が安心して暮らせるまちづくりが確立できる。地域共生社会実現と、共生型福祉施設に対する考えを聞きたい。

答

高齢者・障がい者・児童・生活困窮者など複数の課題を抱え、縦割りでは対応困難なケースもあり、支援が必要な方に包括的な支援がいき、馴染みの事業所で高齢になっても福祉サービスが利用し続ける佐伯市をめざし、地域共生社会の実現に努めていく。



市長の政治姿勢について

公明党 代表質問 浅利 美知子

問

新市長の政治姿勢・ビジョン等多くの市民が期待し、注目している。「佐伯がいちばん」に込められた思いも含め、市長の決意を問う。

答

「佐伯がいちばん」には、市民の皆様への満足度をより高めていきたいという思いが込められている。市長としてその思いを強く持ち、「佐伯創生」への道を邁進していきたい。

問

本市の最重要課題は何と考えるか。また、その課題にどう取り組むのかを問う。

答

①いかに人を育てるかだと考える。分野や地域、世代を超えて知恵を出し合い、「オール佐伯」の精神で「佐伯創生」の実現を目指す。②子どもから高齢者まで安心して暮らせる福祉政策も重要と考える。私が貫いてきた「現場主義」を行政姿勢にも徹底し、弱い立場の方々に寄り添う市政を展開していきたい。③南海トラフ地震など、予測不可能な地震や津波など天災に対する危機管理体制も重要である。災害に負けない強靱な情報インフラ整備等行っていきたい。これらの重要課題は、これから策定する第2次佐伯市総合計画に盛り込んでいく所存である。



市長の今後の市政運営について

南風会 代表質問 御手洗 秀光

問

市長は一党一派に属さず、公平公正な立場での市政運営を行うべきと考える。オール佐伯とはどのような考えか？

答

私は市民党であり、市民の声を尊重して公平公正な市政運営を行う。分野や地域、世代を超えて互いに知恵を出し、ベクトルを合わせて、オール佐伯のプロジェクト方式で政策の企画と事業化に取り組む。

問

教員の多くが過酷な勤務状態になっているのではないか。佐伯管内で6月4日に1人の先生が亡くなっている。本市の実態と対策は？

答

教職員の勤務実態について、佐伯独自で調査したものはないが、平成28年12月の大分県教育委員会の調査結果によると、土日を含む1日当たりの平均時間外勤務は、小学校で1時間16分、中学校では2時間27分となっている。1か月にわたる勤務の実態についての調査ではないので、過労死ラインであったかどうかの回答はできない。管内の先生方がどのような勤務の実態にあるのか、服務監督をする教育委員会として重大な関心を持って調査する。直ちに時間外勤務を著しく減らすことは難しいと思うが、実効性のあるものを現場とともに作っていききたい。



鶴見地区の道路整備について

佐藤 元

問

梶寄浦、丹賀浦地区の避難路・避難地について問う。

答

梶寄浦地区の避難場所である旧東中学校は築59年で、現在の耐震基準を満たしていない。今後は、佐伯市公共施設等総合管理計画で具体的な方針を決定したい。次に、丹賀浦地区の避難路は、一部斜面が崩壊しており、地区による原材支給での維持管理ができない箇所は、市による直接施工が必要と思われる。

問

帆波浦地区の排水溝口先のごみ等の堆積物の処理、また敷場浦、鮪浦地区の避難路の未整備場所の対応について問う。

答

県道梶寄浦佐伯線との交点部下流側は海に面し、河口部は打ち上げ浜の状態であり、山から流出した土砂も含め堆積量が増している。現況を再確認し、流路確保の対応をしたい。また敷場浦、鮪浦地区の未整備場所については、地元の開き取りを行い対応していく。

問

各地区の排水溝口先の堆積物撤去、及び河川の堆積物の状況の把握について問う。

答

各地区からの要望書及び情報により点検、調査を行っている状況である。



八幡地区に公園を！

上田 徹

問 佐伯市が管理する公園は、どのくらいあるのか。

答 佐伯市には、153か所の公園があり、各担当課で管理している。

問 なぜ、八幡地区には公園が一つもないのか。

答 佐伯市都市計画区域内では、計画に基づき順次公園整備をしているが、八幡地区内には整備されていないのが現状である。

問 今後も、八幡地区内に公園の整備をする考えはないのか。

答 今年度から都市計画公園の配置や整備に関する「緑のマスタープラン」の策定に入る。八幡地区において、公園や緑の配置や整備について検討していく。



港児童公園



祖母・傾・大崩ユネスコエコパークの登録により期待される効果について

矢野 幸正

問 登録により期待される三つの効果について、まず、地域活性化について問う。

答 登録により期待される効果は、国内外での知名度が向上し、より広範囲に本地域の自然、伝統、文化の魅力を発信することができ、来訪者が増加することで、地場産品や地域の農林産品等の消費量の一層の拡大など地域所得のさらなる向上が期待される。

問 ブランド価値の向上について問う。

答 世界基準の認定を受けることで、「宇目ぶどう」「栗」「ホオズキ」「乾シイタケ」などの地域を代表する農林産物の知名度の向上が期待される。

問 環境教育・研究の拠点について問う。

答 地域内の自然環境保全、調査研究活動の促進のため、宿泊・滞在機能を備えた学術研究支援のための拠点施設等が必要となる。この施設は、地域内の調査研究活動の拠点となり、施設としては緩衝地域内にあり「うめキャンプ村」「道の駅宇目」「宇目地区公民館」を想定している。



入津湾の漁場環境の改善について

森 三千年

問 入津湾では、昨年赤潮プランクトンの大量発生により大きな漁業被害が発生したが、被害を最小限にとどめるための市の対応策を問う。

答 赤潮発生の早期予測により被害を最小限に軽減することが最も重要、そこで今年度4月に大分県が自動昇降水室測定器を設置している。定点モニタリング測定に、この24時間体制で稼働する機器を設置したことで早期の警戒が図れる体制が整えられたと考えている。

問 平成25年度、26年度に大分県が実施した入津湾漁場改善工法調査に関する調査結果の概要を伺いたい。

答 湾口部の水深の浅いところに、局部的に深い水路をつくることにより海底の流況を変え、海水交換を促進し、同時に流量を増大させる工法で、上入津側を延長450m、下入津側を延長900m、水深12～14m、幅は50～70mとなるよう掘削するという内容で、湾内外の海水交換が促進され、湾内の富栄養状態を改善する。さらに海水交換装置を併設することで表層海水を低層に送り込み、低層の貧酸素状態を改善するという工法を提案している。



フッ化物洗口で 虫歯予防を

飛高 彌一郎

問 フッ化物洗口の幼稚園、保育所での取り組みを問う。

答 現在の幼稚園、保育所での取組状況については、平成29年6月2日現在、市内1か所の私立幼稚園と16の保育所及び認定こども園で、合計389名の子どもたちがフッ化物洗口に取り組んでいる。

問 フッ化物洗口の小学校での取り組みを問う。

答 小学校での取り組みについては、昨年度、下堅田小学校を「フッ化物洗口モデル実践校」に指定し実施した。その中で、実施方法や実施時刻、薬品保管等について課題を洗い出してきたところである。また、年度末には、保護者に対してアンケートを実施し、約9割の家庭から次年度も継続するよう希望が出されている。現在、校長会、佐伯市歯科医師会、佐伯市薬剤師会との協議を進め、今年度は実施校を拡大する方向で、下堅田小学校に加え、同じ佐伯南中学校区の上堅田小学校、青山小学校、木立小学校においても取り組んでいくことにしている。



城山の管理・整備は！

塩月 健治

問 城山の登山道・山頂部がかなり荒れているが、管理はどのようになっているのか。

答 城山には4か所の登山道があるが、特に独歩碑の道は、利用者も多く路面も荒れており、自然環境に配慮しながら真砂土系補修材で補修を行なっている。また、倒木やのり面の崩壊などの場合は、工事業者に発注し山頂部等の除草、剪定は業務委託で委託して管理を行なっている。

問 今後、どのような計画のもと、整備を行っていくのか。

答 山頂の毛利神社は神社庁の管理になっている。今年度に城山歴史公園の長寿命計画を策定し、施設の維持管理方針を明確化する。また、佐伯城山の活用・保存等に関する基本方針に基づき、城山歴史公園整備方針を定め、登山道等の具体的な整備計画を今年度策定し、この整備計画に基づき実施していく。



城山登山口の案内図



北朝鮮ミサイルに対する 避難訓練の実施について

菅 さとみ

問 今年に入り、ますます北朝鮮ミサイルの発射が繰り返され、憤りを感じている。幸福実現党では、全国300近くの自治体に「北朝鮮ミサイルに備えた避難訓練等の実施を求める要望書」を提出しており、私も身も繰り上げ当選させていただく以前、4月24日に市長の元へ、初期動作の対応とともに提出している。

答 これまで「妄想」として扱われていた北朝鮮ミサイルの攻撃が「現実の脅威」として認識され始め、具体的な有事に向けた訓練は全国各地で行われている。6月8日に地对艦巡航ミサイルが数発発射されている。市民の命を守るために訓練実施を強く望んで当局の見解について問う。また間違った情報による不安や混乱を招かないよう情報共有の仕組みについて問う。

問 市としては、今後、国、県の動向を見て考えていく。緊急情報の伝達方法については、Jアラート全国瞬時警報システムにより各地区の防災スピーカーから特別なサイレン音でお知らせするほか、防災・行政ラジオや緊急速報メールでも行う。緊急情報のお知らせの仕方やミサイルが落下する可能性がある場合にとる行動について5月15日発行の市報や市のHPで広報している。



市長の政治姿勢について

福岡 勝彦

問

「旧町村部の活性化なくして佐伯の元気はないと考え、振興局がその元気の源泉となるべく、体制等の見直しに取り組んでいく所存であります」とあるが、旧町村の活性化に対する具体的な計画があるのかを問う。

答

旧町村の活性化に対しては、今年度取り組み第2次佐伯市総合計画において、各振興局編を作る計画で、これには各振興局の地域振興審議会委員が中心となり、計画を練ってもらう予定である。

問

6月補正に当たって、田中市長のその意思を反映させた新規事業や振興局の独自予算配分等は盛り込まれているのかを問う。

答

振興局独自の新規事業「がんばる里・浦地域活力向上事業」として補助金1000万円を計上した。

問

体制の見直しについては。

答

風水害や火災等の緊急時の対応には、地域に精通した旧町村出身者を各振興局に配置することが望ましい。年々、旧町村出身者が減少しているが、できる限り地元出身職員の優先的配置に努め、限られた職員で対応を図っていきたい。



コミュニティバスについて

西條 隆洋

問

本市におけるコミュニティバス事業の目的を問う。

答

公共交通機関の交通空白地域のうち、佐伯市地域公共交通総合連携計画（平成20年3月）に定めたコミュニティバス等の導入基準を満たす地域に、地域住民の最低限の交通手段を確保することを目的としている。

問

平成27年3月の佐伯市議会議員政策研究会からの「佐伯市における公共交通施策に関する提言書」による提案から2年が経過したが本提言を受けて、事業改善を行ったかを問う。

答

提出された提言書については、現時点では、具体的な事業改善にまでは至っていないが、公共交通機関の考えが大きく影響することから、バス事業者に対し、提言書の内容を含めた公共交通施策に対する意見書依頼など、実施可能かを見極めるための調査・協議等を行っている。



教員の負担軽減のために部活動指導員の導入を！

後藤 勇人

問

教員の負担軽減のため、外部から部活動指導者を導入し、活用する考えはないか。

答

平成29年に「学校教育法の施行規則の一部を改正する省令」が施行され、部活動において、校長の監督を受け、技術的な指導に従事するものとして「部活動指導員」が制度化された。「部活動指導員」は、これまでの外部指導者と異なり、専門的な技術指導に加えて大会や練習試合の引率等も職務として認められている。「部活動指導員」の導入については、教員の負担軽減だけでなく、より専門的な指導技術を持った者が指導に当たること、生徒の競技力向上にも繋がるものだと思っている。ただし、導入に当たっては、クリアすべき課題がいくつかあり、一つは、部活動指導員の身分、報酬や費用弁償等、雇用条件の整備の問題。また、人員確保の問題もあり、さらには、人件費に係る予算関係の問題もクリアしなければならない。





市街地に漂う悪臭 どうにかならないか！

高司 政文

問 女島方面から市街地にかけて時々漂う悪臭に市民から苦情が寄せられている。市の対応、臭いの原因、解決策について問う。

答 「西浜方面からの悪臭、どうにかならないか」という苦情が多数寄せられている。これまで現地確認し、発生源の調査を行っていたが、特定が難しかった。そこで、臭いの強さを数値化する「臭気強度」の測定を平成26年度から28年度にかけて行った。その結果、1事業所から突出して強い臭気強度が測定され、西浜地域の悪臭に大きな影響を与えていると考えている。大分県廃棄物対策課、南部保健所、佐伯市の三者で対策会議を開催し、この事業所を含め、臭気レベルを低減するための指導を行っている。

問 民間企業でも社会的責任が問われ、社会的貢献、環境対策などが重視されている。この事業所との話し合いを問う。

答 市と女島区、事業所の三者で生活環境保全に関する基本協定書を交わしている。その中で産業廃棄物の適正な処理を推進し、地域住民の健康の保護と生活環境の保全を図ることを目的としている。基本的責務として、企業責任が問われているので、市職員が立入調査等を行いながら作業の見直しや営業時間等の変更をお願いしている。



観光協会の在り方を 再考し、体制強化を！

富松 万平

問 以前、佐伯ふるさと便を創設したらどうかと質問したが、現状は。

答 販路拡大の方策として有効だと考えているが、現在のところ出来ていない。取り組みとしてどういう方法が最善なのか、ブランド戦略の見直しと併せてもう一度考えていく。

問 市長の所信表明からも、これまで以上に観光行政に力を入れることが伺える。観光振興の充実を図るに当たり、観光協会の在り方を考えるべきではないか。

答 佐伯市観光協会は本市を広く紹介宣伝し、観光振興に関する事業を実施し、観光客の誘致に努めている団体であり、市としても協会の支援を行っている。

しかし、協会事業は多岐にわたり、年々幅広くなっており、委託される事務量も増えているため、恒常的なマンパワー不足の状態にある。さらに今後は、インバウンド事業も加わり、農林水産業との連携での観光づくりという視点による事業構築も必要であると考えている。

こうしたことから、今後の大きな課題として正職員複数化の検討等も含めて、事務局体制の強化について、観光協会と協議していく。



交通の玄関口に おもてなしを!!

大野 達也

問 佐伯市の主要な玄関口である東九州自動車道「佐伯インターチェンジ」において、どのようなおもてなし・歓迎の体制をとっているか問う。

答 佐伯インター入口交差点を右折した先に「路側型案内標識」で、各方面の観光資源を案内している。その先の消防本部隣地には食をPRした看板を設置している。

問 宿毛フェリー乗り場について同様に問う。

答 施設自体が県所有であり、以前から市から県に改善を要望している。平成26年度は、施設内外に各種案内看板を設置した。

問 佐伯駅の利便性を高めるため、ホームへのエレベーターの設置、多目的トイレの整備、段差の解消は今後の懸案事項である。市として、どのように捉えているか問う。また、駅や駅前ロータリーでおもてなし、歓迎で地域の魅力を訴求できているか問う。

答 佐伯駅の利便性向上は、重要課題と認識している。JR九州本社、九州運輸局に佐伯駅のバリアフリー化を強く要望している。歓迎・おもてなしについては、駅の隣に観光案内所を置き、周辺には観光のほりを設置、館内はパンフレットを揃えている。

平成28年度 政務活動費 収支報告内訳一覧

- 政務活動費は、議員の調査研究に必要な経費の一部として、議員1人当たり20万円を会派及び無会派議員に交付しています。
- 交付決定額から実績額を控除して残金がある場合は、その残金を返納しています。また、交付決定額を超過した額は、会派及び無会派議員で負担しています。
- 平成28年度における会派及び無会派議員の支出状況、主な使途は次のとおりです。

単位 (円)

会派名	実績額								交付決定額
	調査研究費	研修費	広報費	要請・陳情活動費	資料作成費	資料購入費	事務所費	合計	
伯盛会 (11人)	1,255,334	9,000	293,265	0	0	58,968	0	1,616,567	2,200,000
新風会 (5人)	376,828	4,000	85,524	0	0	114,884	0	581,236	1,000,000
佐伯を元気にする無所属の会 (2人)	295,326	0	311,932	0	0	0	0	607,258	400,000
公明党 (2人)	260,002	0	0	0	26,670	0	0	286,672	400,000
自民党 (2人)	0	0	0	0	14,484	44,330	60,000	118,814	400,000
無会派(高司政文)	0	12,500	65,555	57,810	4,954	88,153	0	228,972	200,000
無会派(井野上準)	0	183,030	0	0	0	0	0	183,030	200,000

会派名	政務活動費の主な使途
伯盛会	【調査研究費】 管外視察調査<①農業と福祉の連携による6次産業化事業の取り組みについて(北海道留萌市)、②東川町の総合的なまちづくりについて(北海道東川町)、③旭川市動物愛護センターについて(北海道旭川市)、④北海道水資源の保全に関する条例について(北海道庁)> 【研修費】 議員研修会参加費(大分県市議会議長会研修会) 【広報費】 会派議会報告会印刷代 【資料購入費】 情報誌購入代
新風会	【調査研究費】 管外視察調査<①パークゴルフ場の運営について(島根県雲南市)、②定住促進の取り組みについて(島根県出雲市)、③地方創生推進に関する事業について(鳥取県米子市)> 【研修費】 議員研修会参加費(大分県市議会議長会研修会) 【広報費】 議会報告会印刷代、郵送代 【資料購入費】 事務用品代、書籍購入代、インク代、ファイル代など
佐伯を元気にする無所属の会	【調査研究費】 管外視察調査<①「地方議会議員セミナー in 東京」の講座を受講(東京都)、②障がい者の保健医療・福祉施設の備わった取り組みについて(栃木県足利市)>、<「しみず山椒の里活性化協議会」の取り組みについて(和歌山県有田川町)> 【広報費】 議会報告会印刷代
公明党	【調査研究費】 管外視察調査<①農業と福祉の連携による6次産業化事業の取り組みについて(北海道留萌市)、②東川町の総合的なまちづくりについて(北海道東川町)、③旭川市動物愛護センターについて(北海道旭川市)、④北海道水資源の保全に関する条例について(北海道庁)> 【資料作成費】 事務用品代、インク代など
自民党	【資料作成費】 事務用品代、パネル代など 【資料購入費】 機関紙購読料、文具代など 【事務所費】 事務所賃借料
無会派(高司政文)	【研修費】 記念講演参加費、セミナー参加費 【広報費】 議会報告印刷代 【要望・陳情活動費】 中央省庁 【資料作成費】 インク代 【資料購入費】 書籍購入、新聞代など
無会派(井野上準)	【研修費】 ①「議会運営実務講座 in 名古屋」受講、「議会活動マスター講座 in 名古屋」受講、②議員研修会参加費(大分県市議会議長会研修会)、③「公共施設マネジメント・2日でわかる公共施設の問題点」受講

23団体に委嘱状

議会団体モニター

7月6日、市役所で市議会団体モニターの委嘱式が行われました。

各団体の代表者23人に三浦渉議長から一人ひとりに委嘱状が手渡されました。市議会からは正副議長、また議会運営委員会をはじめとする各常任委員会の正副委員長が出席し、自己紹介をしました。

議会モニターには、団体モニターと個人モニターがあります。今回は、団体モニターとは、議案等に対して意見を聴取したい時に、各団体を議会モニターとして登録させてもらいます。そして議会の申し出により、いつでも意見を聞けるようにして議案審議等の参考にしようとするものです。



【議員の表決態度の公表】※賛否が分かれた議案等について掲載しています。

件 名		議決結果	賛成 (○)	反対 (●)	会 派 議員氏名										無所属の会		無会派											
					富松 万平	清田 哲也	塩月 健治	濱野 芳弘	清家 好文	本田 房代	大野 達也	坪根 大吉	森三 千年	飛高 彌郎	福岡 勝彦	御手 洗秀光	矢野 幸正	上田 徹	佐藤 元	河野 豊	浅利 美知子	後藤 勇人	井上 清三	西條 隆洋	高司 政文	菅さ とみ	吉良 栄三	三浦 渉
議案第72号	財産の無償貸付けについて（旧河内小学校校舎の一部）	原案可決	21：1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	休	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	議	
議案第75号	佐伯市社会福祉センター条例の制定について	修正案可決	19：3		○	○	○	○	○	○	○	○	○	休	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議 長

※議長（三浦渉）は、通常の過半数議決には表決権がありません。 ※無所属の会：佐伯を元気にする無所属の会

9月定例会のお知らせ（予定）

- 【8月】 29日（火）開会
 【9月】 5日（火）一般質問
 6日（水）一般質問
 7日（木）一般質問
 8日（金）一般質問
 12日（火）建設経済常任委員会
 教育民生常任委員会
 13日（水）総務常任委員会
 14日（木）予算特別委員会
 20日（水）閉会

※ぜひ傍聴にお越しください。

後藤幸吉前市議が失職

後藤幸吉前市議は、公職選挙法違反により6月21日に失職しました。これで佐伯市議会（定数25名）は、1名の欠員となりましたが、補欠選挙は実施されません。

編集後記

先日、書店で、「定年後」という題名に引き寄せられ手に取りました。その中には「若い時に注目されず、不遇な人生を送った人でも定年後に輝けば過去の景色は一変する。人生の後半こそが勝負である」と。また、輝くためには50歳代から準備が必要だと綴られていました。遅い、完全に遅い。しかし、自分のしたいことができる寿命を健康寿命とするなら統計では75歳を過ぎると男性は急に自立度が落ちるらしいのです。あと10年人生を謳歌したいと思っています。

この議会だよりが届く頃は、太陽がガラガラと照り付けていると思います。しかし今は、梅雨の中で紫陽花がきれいに咲いています。太陽に向かって咲くひまわりよりシトシトと雨が降続く中にジイッと耐えている紫陽花が好きといえるような議員になりたいと思ひながら外を見えています。

広報副委員長 瀧野芳弘